



令和5年度 千栄小学校グランドデザイン

校長の願い

「ふるさとに学び たくましく
生きる力を身につける子ども」
ふるさと千栄の人や自然・文化に学び、確
かな学力を身に付け、自分の未来を切り開
き、たくましく生きぬく子どもを育む

飯田市教育ビジョン

地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり

かしこく

やさしく

たくましく

めざす児童の姿

家庭ですること

- ・日常の挨拶、声かけ（ありがとう、助かる）
- ・生活リズムを整える

地域ですること

- ・挨拶 おはよう おかえり
- ・見守り

めざす子ども像・取り組みの重点

- ・あいさつで 心をつなぐ 千栄っ子

学びを活かし、語り合い、追究し合う子ども
【智】

自分づくり、仲間づくり、ふるさとづくり
【徳】

身も心も汗まみれ泥まみれ
になれる子ども【体】

◇教育課程
○手立て※評価

- ◇少数集団を生かした「学習指導」「学級経営」「児童理解」
- ◇地域の資源を活かした「ふるさと学習」「体験学習」
- ◇指導共有化「職員研修・教材研究・授業改善・調査の分析」
- ◇主體的、対話的で深い学びを育む“協働的な学び”“個別最適な学び”
- 伝え合い・学び合いの場 学習課題・個のめあて ICT活用
- 地域資産を生かした学習・学びを活かし、考えを実現させる
 - ・地域との関わり、地域貢献
- 基礎学力の定着 ・ドリル 読書
- 3観点（ねらい・めりはり・見届け）の実施 ・板書づくり
- ※各種調査（全国学調、NRT）で県平均を上回る
- ※「できた・わかった」50%「楽しい」60%自己評価A項目

- ◇自分の大切さと共に他の人の大切さを認める「人権教育」
- ◇ふるさとを誇りに思う子ども
「あいさつ」「千栄文庫の心」
- ◇地域の一員として「地区行事」「ごみ拾い」
- 自他の尊重 ・共感的に理解する力、分かり合うためのコミュニケーションを育む場
- 仲間づくり ・児童会「キッズワールド」
- 感謝の気持ちを育てる活動、地域との関わり
・誰にでも進んでできる「あいさつ」、「あいさつウィーク」
- ・児童会「地域美化活動」
- ※自己評価（2回）、関係者評価（1回）で実態把握
- ※あいさつ、子ども85%・保護者80%自己評価AB項目

- ◇「健康・体力づくり」の習慣化
- ◇清掃活動（だまり、みつけ、振り返り）
- ◇目標に向かって努力する 「運動会」「マラソン大会」
- ◇やるべきことへの責任ある行動
- ◇粘り強い取り組み
- 保健・体育指導 情報提供や環境作り
 - ・歯みがき・フロス、生活リズムづくりの家庭への啓発
 - ・体力づくりを意識した朝運動や全校体育
- めあてや取組の足跡が分かる掲示・意欲付け
 - ・自己目標、記録カード、評価の工夫
- ※全国体力運動能力等の調査における「敏捷性」「持久力」の向上を図るとともに、様々な遊び・運動経験をする。

今年度の重点

- 自分の考えをつたえ、友との学び合いで高まろう
- ・友とのつながり（協働的な学び）と個の自立（個別最適な学び）を大切にしよう
- ・基礎学力をつけよう

- 友だちや地域の方とのつながりを深め、思いやりや感謝の心を育てよう
- ・自ら進んで、相手に伝わるあいさつをしよう
- ・地域に関わり、ふるさとを大切にしよう

- 「良い歯」「一輪車」「マラソン」「縄跳び」に挑戦
- ・「順番みがき」・きまりよい生活習慣
- ・「朝運動」「わんぱくの時間」などスポーツと遊びで体と心を鍛えよう

【合い言葉】

きょういく
響育

人とつながる 言葉で響く 心が響く

<人権教育の考え方>①自分を豊かに表現し、伝え合うコミュニケーション力 ②相手のことを考える想像力、共感性 ③建設的な手法により人間関係を築く調整力、実践力 隠れたカリキュラム